

中期経営計画

(令和4年度～令和7年度)

2023年8月(変更)

公益社団法人おかやま観光コンベンション協会

【団体概要】

団体名	公益社団法人おかやま観光コンベンション協会		
代表	石井 清裕	資本金等	-
役員数	理事（20名）・監事（2名）	従業員数	65名（R3.4現在）
設立年月日	平成9年6月4日	会員数	正会員310（R3.4現在）
所在地	岡山市北区厚生町3-1-15	HP	https://okayama-kanko.net/
電話番号	086-227-0015	市所管課	岡山市観光振興課
設置目的	岡山の文化的、社会的、経済的特性を活かしたコンベンションの常時開催体制の整備及び誘致を戦略的に推進するとともに、観光施設の整備運営、市民の観光意識の普及及び向上並びに観光客誘致宣伝事業の促進等によって観光事業の健全な振興を図り、もって地域経済の発展と市民の生活、文化の向上発展に寄与することを目的とする。		
事業内容 (定款)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客及びコンベンションの誘致及び支援 ・観光及びコンベンションの広報及び宣伝 ・観光及びコンベンションに係る人材の確保及び資質の向上 ・地方公共団体等が所有する観光施設等の管理運営 等 		

【基本理念】

岡山市の政策に基づき、市の特性を活かした観光・コンベンション事業の推進を以って地域経済と市民生活、文化の発展に寄与する。

【基本方針】

- ◎市と協調した事業の推進及び協会の強み・ノウハウを活かした事業の展開
- ◎コロナ禍・収束期における観光・MICE 関連業界等との連携強化による事業展開
- ◎公平・公正な公の施設の健全な管理運営と安定的な法人運営
- ◎持続的かつ戦略的な人材確保と育成

【趣旨】

岡山市の外郭団体として、岡山市の政策に基づき事業を推進すること、また自主性、自立性をもった経営をさらに進めるため、将来像を明確にした「中期経営計画」を策定する。あるべき姿の実現のために改革に取り組むことで、運営改善につなげていく。コロナ禍での策定ではあるが、社会状況の変化を視野に入れ、経営計画を策定する。

【令和4年度以降の重点実施事業項目】

- ◎観光客・コンベンション誘致に向けた情報発信・プロモーションの強化
- ◎岡山城のリニューアル後の事業展開
- ◎日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまちおかやま」を活用した事業推進
- ◎岡山DCキャンペーン、瀬戸芸、芸術交流など各種事業の推進による観光客の誘致
- ◎おかやまのトップスポーツチームとの事業推進

- ◎新型コロナウイルス感染症の影響に対する観光業界等への支援策の実施
- ◎コロナ禍・コロナ収束期におけるコンベンションの誘致活動及び開催支援
- ◎コロナ禍・コロナ収束期における指定管理施設の安定的・効率的運営の推進

【観光振興】

- ① 岡山市の歴史（日本遺産含む）、文化、伝統芸能、自然、物産、スポーツ等の観光資源の情報を収集し、広く一般に発信・宣伝するとともに、岡山ならではのイベントの開催や市民のホスピタリティの向上に取り組み、地域の魅力、都市の知名度を向上させることにより積極的に観光客の誘客を図る。
- ② 当協会が管理する観光案内所や観光施設において、岡山市を訪れた観光客への「おもてなし」に積極的に取り組み、リピート客の確保や消費の拡大を通じ地域経済の活性化を図り、もって地域社会の健全な発展に資することを目的に各施設の管理・運営及び各種事業を実施することとする。
- ③ 指標及び目標

【取組項目1】岡山市ももたろう観光センターの来館者数 (単位：人)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	35,000	78,000	78,250	78,500
実績	77,788			

※（参考）R元年度 73,065 人（JR 岡山駅地下時）

【取組項目2】岡山城天守閣の入場者数 (単位：人)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	60,000	370,000	372,500	375,000
実績	202,418			

※R4年度は11月3日より営業開始 ※（参考）R元年度 343,616 人

【取組項目3】たけべ八幡温泉の入浴者数 (単位：人)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	60,000	83,600	83,800	84,000
実績	83,506			

※（参考）R元年度 71,619 人

【取組項目4】足守プラザ体験者数（木工・陶芸） (単位：人)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	2,300	2,800	2,825	2,850
実績	2,763			

※（参考）R元年度 2,247 人

【取組項目5】 備前焼工房体験者数 (単位：人)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	750	3,500	3,550	3,600
実績	1,735			

※R4年度は11月3日より営業開始

※新規施設（岡山城天守閣内より移設）のため参考資料なし

【プロモーション・MICE】

- ① 岡山市、当協会、OCC（㈱岡山コンベンションセンター）を中心に、連携・協力協定を締結した岡山大学や岡山商工会議所等の産官学が連携し、地元でのMICE開催を促進するとともに、これまで国際会議を開催した経験を活かして、国際会議の積極的な誘致に取り組み、地域経済の活性化のみならず、都市のブランドの向上や国際化を推進する。
- ② コンベンションに係る情報の収集・発信、岡山市の特性や優位性を活かした誘致活動及びコンベンション主催者に対する開催支援等を、岡山市やOCC等との連携を一層強化しながら、コンベンションの開催件数及び参加者数の増加を図る。インバウンド需要の回復には時間が必要であるので（R7年開催の大阪万博を目標として100%を目標）国内需要に注力してMICE全体の開催誘致を推進する。
- ③ 観光に係る情報の収集・発信（『C+観光で更に1泊』『I・E・M+観光で岡山へ』）、等岡山市の特性を活かした誘致活動を積極的に取り組むことにより、参加者数の増加と宿泊客数の増加を推進する。
- ④ 指標及び目標

【取組項目1】 国際会議等の開催件数（コロナ前5年平均34.6回） (単位：回)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	15	20	25	35
実績	6			

【取組項目2】 MICE開催件数（コロナ前5年平均331.2回） (単位：人)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	150	225	300	340
実績	153			

【取組項目3】 MICEの参加者数（コロナ前2年平均166,261人） (単位：人)

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	70,000	85,000	120,000	170,000
実績	73,427			

【法人（総務）】

- ① 法改正等による円滑な運営移行
 - ・社会的変動に伴う改正法令、また協会規則・規程改定を円滑に進め、法令順守で運営する。
- ② 働き方改革と労務管理の徹底
 - ・ワークライフバランスを背景に、時差出勤の活用や有給休暇の取得義務の徹底、職員の健康維持、働きやすい職場環境の整備、産業医との連携
 - ・いち職員に業務が偏らないよう残業・休日出勤等労務管理のチェックを行う。
- ③ 安定的な財政運営
 - ・コロナ禍で観光業にとって厳しい経営が続いており、先行き不透明ではあるものの、経費削減に努め、また会費収入、自主事業の増収への新たに取り組むなど、安定した経営を持続していく。
- ④ 人材確保と育成への積極的な取り組み
 - ・コロナ禍において、現地出張・研修・セミナー等が中止する一方で、近年オンラインを活用した会議や意見交換会・研修・セミナーにシフトされるものもある。職員の専門的な知識と意識向上などを目的に積極的に自己啓発を推進する。
 - また、現地研修にくわえ、職員間の内部研修、障がい者や育児・介護・病気で休業者への理解、ハラスメント、育休前事前研修等を取り入れ実施する。
- ⑤ 指標及び目標

【取組項目1】人材育成として職員研修・セミナー等への参加人数（単位：人）

区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標	45	50	55	60
実績	97			

【その他】

変更理由 2023.08（観光振興）・・・R5年度～R7年度の目標値変更

- ・新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、国内・インバウンドとも戻りつつあるため、目標値を上方修正する。